

青木&倉本両会長がトークショー

河川敷
ゴルフ場
発祥の地で



戦前にもゴルフ場があった当地。かつては対岸にもコースがあった

昨年10月の台風による水没から復活した新東京都民ゴルフ場（9H、東京都足立区新田）が8月1日にリニューアルオープンした。本誌クラブページでも紹介したように同ゴルフ場ゆかりの青木功JGT O会長と、JPGAの倉本昌弘会長も出席。歴史あるゴルフ場の再スタートに、鹿浜昭足立区議会議長などが水没と廃業の危機からの復活に感謝と今後の期待を述べた。

1955年に開場した同ゴルフ場は、上田治氏がコースを設計、発足時は荒川の左岸と右岸の計36H規模の「東京都民ゴルフ場」として親しまれた。JGT O青木会長が、キャディとして就職したのは63年前ということで、開場して2年ほど後だったようだ。

トークショーの模様を交えて紹介する。

昨年10月の台風冠水から復活

「河川敷ゴルフ場発祥の地」と呼ばれる同地には戦前、学生会、ゴルフ倶楽部の名称で1931年から太平洋戦争で閉鎖される1943年まで18Hのゴルフ場が存在した。

戦後の復興で、その後都民ゴルフ

場など荒川などの河川敷にゴルフ場が整備されたが、第一次ゴルフブームのころ、都心にも近い河川敷ゴルフ場が庶民にもゴルフが普及する受け皿になったのは想像に難くない。

都民ゴルフ場はその後荒川の護岸整備のため左岸がなくなり、新田側の右岸のみの18Hに縮小。さらに緊急避難道路が河川敷内に整備されたことから打球事故防止・安全対策もあり、規模が縮小していった。当時運営の安達建設グループは2009年に会員組織の解散と運営からの撤退を表明した。

そして2010年4月から地元・造園業者の㈱NIHON・TURF&GREENが経営母体となり、「新東京都民ゴルフ場」として、パブリックで営業してきた。

それが昨年10月の台風19号でコースが全面的に冠水。20年ぶりという大規模な増水の上、河川側が嵩上げされていた分、一度入ったヘド口を除去しにくく、運営会社では致命的被害で復旧のめどが立たないとしてホームページに別れと感謝の言葉を残して、昨年末での廃業を表明していた。

その時点で青木会長は朝日新聞

のインタビューを受け、「ゴルフ場が無くなることを知ったという。ただし、この一連の閉鎖報道から医療法人社団葬会のグループが名乗りをあげ、今年3月に㈱NIHON・TURF&GREENに資本参加することが決定。今年4月からの復旧工事で、8月1日のリニューアルオープンレセプションを迎えていた。

式典で葬会の新合幸義理事長は、「皆様のご理解を得られればこのゴルフ場の周りに桜の木を2千本植える予定です。5年後は上野の公園に負けないような桜の名所、東京都民、区民のいこいの場、さらに健康増進の場にしたい。これが私の今日からの夢であります。5年後の4月15日に桜を見る会を催しますので是非、本日お集りの皆様にご出席していただきたい」と挨拶、市民にも桜並木の散策を楽しんでもらうのが夢と語った。冠水対策としては「水門を直した」という。

葬会グループは全国で病院や介護老人保健施設を展開し、買収により業容を拡大し、近年は3カ所のゴルフ場（一関CC、H&R那須霞ヶ城CC、千歳CC）を取得



青木会長と谷理事
谷理事は広島出身で、JPGAの倉本会長とは同郷という。

青木会長をゴルフの虜にした 同ゴルフ場の思い出

トークショーで司会者に「世界のアオキ」と紹介された青木会長は「私は63年前の(中学卒業後の)3月16日に、このゴルフ場にキャディとして入りました。15歳春の時です。私の師匠の林由郎さんが、その2年位前に来ていたので。普通、地元の我孫子に行けばいいのに師匠がいるのでキャディになりたいと、ここに来たんです。それで結局はゴルフの虜になったみたいな感じですね。ゴルフの真似事を覚えたのはここです。当時、9番と1番の間に池があった。その2ホールで、遊んでいたらキャディマスターに見つかるクラブを

取り上げられてしまうので池に隠れているんだけど、夕方になると波が高くなってお尻が濡れて「冷たいっ」と飛び上がり、見つかった怒られた思い出があります。当時は部長クラスでないゴルフをさせて貰えなかった」と懐かしんだ。

倉本会長は「私は10歳の時、父親の取引会社の方がゴルフをやっているのを始めました。青木会長とは13歳違いでしたが、私がプロデビューした年は青木さんが賞金王で、その後AONの3人がいて私は一度も賞金王になれませんでした」と話した。

それにPGAの会長として「地道に新しいゴルフアを増やしましょう、リタイヤをなくしてゴルフを続けてもらいましょうと活動してまして、そういう意味で「健康とゴルフ」に特化してゴルフ振興に活かしていこうと思っていいます。歩くことで成人病になりにくいですし、歩きながら足し算、引き算、スコアを付ける、それから距離を測ることでボケ防止になる。もう1つは3世代、男性も女性も一緒にゴルフが出来るということ。これは他のスポーツにはない良い

ところではないかと思っています」とゴルフの効用を説明した。

またツアーでの思い出や、パターがうまくなる練習法を青木会長が明かし、「オレが一番うまいんだと思えば大丈夫です」と答えた際には、横にいた倉本会長が「思い込むことが大事ですね。青木さんはその辺はすごいです」と合の手を入れたり、和やかなトークショーとなった。レジェンド2人の登場に「昔からのファンです」と記念写真を一緒にとる参加者も相次いだ。

青木会長はゴルフ場の復活に「やはりあるものはなくさないことが大事」と表現、倉本会長は「これは都心から近く車がなくてもこられる、9Hでプレー時間がかららない、料金が安いなど若者のゴルフ

に参加を阻害している要因がない」と存在意義を強調した。

青木会長は「河川敷コースは技術を引き出せる要素が一杯あります。ごろごろを発祥したのは私です」とも付け加えた。

新東京都民ゴルフ場のホームページ(<http://www.stg.jp/>)では、「日本のセント・アンドリュース、河川敷ゴルフ場の発祥の地と言われている新東京都民ゴルフ場は、都心に最も近い場所にあり、年間を通してリーズナブルな料金で、お楽しみいただけるミニゴルフ場です。夜明けから日没までご希望の時間でお楽しみください」等と案内している。

プレー料金(利用税400円含む)は早朝が平日3100円、土日4100円で、9Hが平日3600円、土日4600円、2回目の追加料金は各2300円、2800円など。JR王子駅から路線バスの運行があり、レンタルのシューズ、クラブやコーヒートップ、売店、更衣室、シャワールーム(タオルは持参)を揃える。

コースは9H、パー31(P3が6H、その他P5が1H、P4が2H)で、全長1965Y。



理事 菅野洋平
撮影 菅野洋平
写真 菅野洋平
記念 菅野洋平
で 菅野洋平
チコ 菅野洋平
アチコ 菅野洋平
と 菅野洋平
出席者 菅野洋平
と 菅野洋平
の 菅野洋平
韓俊社 菅野洋平